

こんにちは 絵本



— 3才頃から —



一宮市立子ども文化広場図書館



そらとぶ でんしゃ

アン マサコ 作
講談社 2015 年

男の子が牛乳パックで電車を作りました。あとは色をぬるだけ…とその時。赤いぼうしのクレヨンが「あそぼう！」とピョンと飛びはねました。さあ、夢あふれるぼうけん旅行の始まりです。



バルボンさんのおでかけ

とよた かずひこ 著
アリス館 1998 年

ワニのバルボンさんが、新聞をとりに出てきました。「おはようございます」とあいさつして、お花に水をやります。それから、ゆっくりのんびり、バルボンさんのおでかけです。どこに行くの？



クマとうさんの ピクニック

デビ・グリオリ さく／山口 文生 やく
評論社 1997 年

クマとうさんは急に思いついて、あかちゃんと二人でピクニックにでかけます。ところが、ハイイロクマの子ども達もいっしょに行くことになりました。ドタバタ、わくわく、心あたたまる一冊です。



わにわにのおでかけ

小風 さち ぶん／山口 マオ え
福音館書店 2007 年

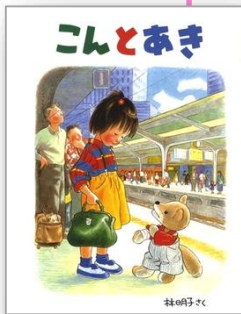
夏の夜、おふとんに入ったわにわにですが、なかなかねむれません。おや？外からぞろぞろと歩くたくさんの足音がします。わにわにには、ついて行くことにしました。「ずりずりづづづ」と…。



おでかけすいぞくかん

阿部 浩志 ぶん／北村 直子 え
荒井 寛 かんしゅう
学研教育出版 2015 年

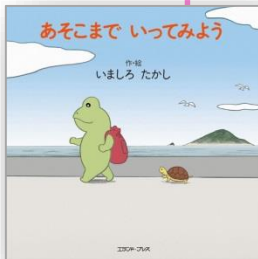
さあ、すいぞくかんへでかけよう。形も大きさもおだんごみたいなダンゴウオや、びゅんびゅん泳ぐクロマグロ。パノラマ大水槽では、魚たちの世界が広がります。飼育係のお仕事もわかつちゃう。



こんとあき

林 明子 さく
福音館書店 1989 年

こんはキツネのぬいぐるみ。あきが赤ちゃんの頃から、ずっといっしょです。ある日、こんのうでがほころびてしまいました。おばあちゃんに直してもらうため、汽車で「さきゅうまち」にでかけます。



あそこまで いってみよう

いましろ たかし 作・絵
エランド・プレス 2015 年

天気の良い朝です。かえるちゃんは、体操をして、それからお弁当を作っておでかけしました。かめちゃんもいっしょに行きたいと言うので、リュックの中に入れ、岬の灯台をめざし歩きだしました。



どうぶつ きかんしゃ しゅっぱつしんこう！

ナオミ・ケフオード ぶん／リン・ムーア ぶん
ベンジー・ディヴィス え／ふしみ みさを やく
ポプラ社 2012 年

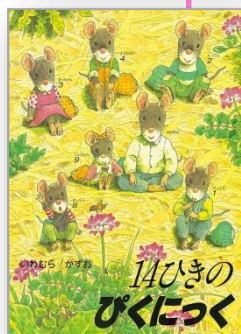
今日はとくべつな日。とびきり、とびきり、すてきな日。ママとぼくいっしょにおでかけするんだ。シツ！何か聞こえない？誰かがついてくるみたい…。ビク！わくわく、何が起きるの？



でんしゃにのって

とよた かずひこ 著
アリス館 2000 年

うららちゃんは電車にのって、ひとりでおばあちゃんの所へでかけます。降りる駅は『ここだ』駅です。ガタゴトー ガタゴトー「つぎは、わにだーわにだー」。ぞろぞろと乗り込んできたのは…。



14ひきのぴくにつく

いわむら かずお さく
童心社 1986 年

なんていい天気。14ひきのねずみ一家はぴくにつくへ行くことにしました。お弁当や水筒もって、さあ出発です。ぜんまい、なの花、かえるにちょうちょ。光や風すべてが春に満ちあふれています。

まだまだ紹介します

『いそがなくっちゃ』

かさい まり 作・絵

ひさかたチャイルド 2004 年

『きらめく船のあるところ』

ネレ・モースト 作

ユッタ・ビュッカー 絵

小森 香折 訳

BL出版 2004 年

『カエルのおでかけ』

高畠 那生 作

フレーベル館 2013 年

『おつきさまと ちいさな くま』

アンドレ・ダーハン 作

きたやま ようこ 訳

講談社 2010 年

『新幹線のたび』

コマヤスカン 作

講談社 2011 年

『10ぴきのかえるのピクニック』

間所 ひさこ さく

仲川 道子 え

PHP研究所 2006 年

『ぴっぽのたび』

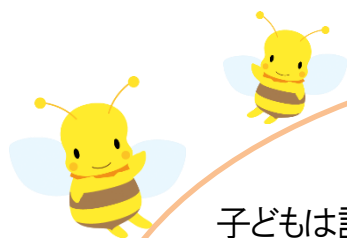
刀根 里衣 著

NHK出版 2014 年

『かたつむりぼうやとかめばあちゃん』

西平 あかね ぶん・え

大日本図書 2013 年



子どもは読み聞かせが大好きです。読み聞かせは愛情を感じる親子の時間でもあります。優しい声を聞きながら様々な絵を見ることで想像力の幅がどんどん広がります。

お子さんと一緒に絵本をとおして色々な場所に「おでかけ」して、自然に触れ合うことの楽しさも味わってください。

